資料2

低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業

学校法人
社会福祉法人
天竜厚生会
Social Welfare Corporation
TENRYU-KOHSEIKAI

平成29年11月10日

社会福祉法人　天竜厚生会

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

社会福祉法人天竜厚生会の概要

〇昭和25年に創設

〇静岡県浜松市西部を中心に湖西市、掛川市、中部地域では静岡市、藤枝市、東部地域では、富士宮市で多岐に渡って社会福祉事業を展開。

〇結核の後保護施設として開設し、その時代のニーズに応えつつ、常に在宅での生活が困難な最重度の障がい、高齢者を地域行政と連携して受け入れてきた。

〇当モデル事業の拠点となる天竜区北遠地域では、平成２３年度から厚生労働省モデル事業「在宅医療連携拠点事業」を実施。

【現在の事業】
- 障害関係事業　：81事業
  （障害者支援施設、相談事業など）
- 高齢者関係事業：66事業
  （特別養護老人ホーム、在宅サービス等）
- 医療関係事業　：6事業　（診療所等）
- 児童関係事業　：69事業（子育てセンター等）
- 中高校生等を対象とした福祉教育等も実施

基本理念

九十九匹はみな帰りたれど、
まだ帰らぬ一匹の行方訪ねん

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

【事業の拠点】静岡県浜松市天竜区龍山町について

★:龍山保健センター(診療所含む)
★:龍山協働センター

法人が運営する、通所介護事業所・訪問介護事業所・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・診療所と、浜松市社会福祉協議会等の複合施設である龍山保健センターやすらぎを拠点とし、龍山地区を中心に実施。

（浜松市）
人口　806,407人
面積　1558.06㎢

（天竜区）
人口　30,086人
⇒浜松市全体の3.7%
面積　944 ㎢
⇒浜松市全体の60.5%

	龍山町	浜松市全体
人口	658人	806,407人
世帯数	332	333,930
空き家 平成28年4月1日現在	231	3,310
高齢化率	60.4%	26.51%

平成29年4月1日現在

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

龍山地区の課題点

課題①人口減少・高齢化

- 空き家の増加
- 高齢者のみの世帯、独居世帯が増加。

参考

龍山地区の独居世帯
（H28.4.1現在）

65歳～74歳	10
75歳～79歳	33
80歳～	52

天竜厚生会診療所
龍山地区高齢者等の
退院後の行先
（H26.4～H28.12）

他院	6人
老健	6人
自宅	23人

課題②災害時の危険性が高い

- 中山間地域である為、土砂崩れが発生する可能性がある。
- 冬季には降雪することがあり、道が遮断され、サービスが届かない等生活が難しくなる。

課題③交通手段が限られている

- 市営バスは、利用者の減少により以前と比較して本数が減少している。
  また、ふれあいバスについては、運行日が限られている。
  （※ふれあいバス：地域によって決められた曜日の運行２時間前までに、電話で予約すると、近辺のバス停に迎えが来る。
  目的地は、龍山地区内の定められたバス停に限る。）

課題④医療機関やサービスが限られている

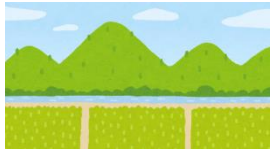
- 地区内の医療機関は、現在龍山診療所（内科・外科・小児科）１件のみである。
- 交通手段やサービスが限られるため、退院後等の支援が必要な場合には、龍山地区の自宅での生活は難しく、施設入所や他病院への転院するケースがある。

平成28年7月～
高齢者等住まい生活支援モデル事業開始

疾病等の治療は終了したが、道路事情により通院が困難なケースや、在宅での生活に不安を抱え、見守りが必要なケースがあることが分かった。少しでも地域で長く暮らし続ける為に、何かできないかと考え、今回のモデル事業の実施に至った。

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

事業の目的



住み慣れた地域・我が家で
なが～く暮らす為のサポートをします！！

①医療機関より退院し、自宅へ戻るまでの中間施設として空き家を提供し、見守り等を提供することで、安心した生活を送ることのできる体制を構築

②中山間地域において、自然災害等により、自宅に住むことが難しくなった際に空き家を提供し、見守り等を提供することで、住み慣れた地域で自立した生活を送り続けることができる支援体制を構築

①事業で使用できる空き家があるのか選分
- ＮＰＯ法人ほっと龍山での空き家調査の結果を基に、空き家状況や使用できるかの振り分けを行う。

②ニーズ調査の実施
- 地域住民のニーズを把握することにより、地域住民が利用したいと思う事業内容を検討する。

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

空き家調査

☆NPO法人ほっと龍山が調査したデータより、龍山地区には220件ほどの空き家があることが分かる。

しかし,,,

- 緊急時の対応を考えると、生活支援拠点から車で15分以内が限度
- 中山間であり、入り口までが急な坂であったり等使用できる人が限られてしまう家が多い

上記の理由から、使用できる可能性がある空き家は、8件に絞られる。

⇒８件のご家族の意向調査の実施。

実際には空き家であるが、「季節物の荷物が置いてある」「仏壇が置いてある」等の理由から、
使用可能性のある空き家は１件のみとなった。

⇒建築設計事務所による１件の空き家現地調査の実施。
耐震性は低く修繕にもかなりの費用がかかる為、使用不可と判断。

また、空き家以外でも、教職員住宅や市営住宅等の候補はあったが、様々な理由により、使用ができないと判断。

当初予定していた龍山地区での空き家は、現在も見つかっていない。

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

ニーズ調査

○龍山地域住民（112名）への訪問によるインタビュー調査○

①移動手段について困っている、またはサービスの充実を求める声が多かった。現在は困っていないが、今後高齢化が進むと共に、移動サービスの要望は増えることが予想される。また、買い物支援についてのニーズが高いことが分かった。

②災害時の際には、地区の集会場や市営の建物に避難する方が多いが、避難道や避難場所も土砂崩れ等の危険がある為、家に居た方が良いとの意見も多く聞かれた。

○ワーキングメンバーからの意見○

①台風の際には、龍山協働センターへ自主的に避難する方やショートステイを利用する方がいる為、その方たちが一時的に利用できるのではないか。

②他地区では、交通手段が少ない地域に住む方が骨折した際に、通院する１～２ヶ月の間、病院近くの生活支援ハウスで生活したことがあった。そのようなケースの方が、今回の事業を利用できるのではないか。

まずは、移動手段やスーパー等が多い、天竜地区にある空き家を活用して、事業を進めていく。

ワーキングについて

〇参加者〇

民生委員会長、NPO法人ほっと龍山、社会福祉協議会、龍山協働センター、天竜区長寿保険課、
天竜区健康づくり課（保健師）、地域包括支援センター北遠中央、天竜厚生会地域医療介護連携事業部

〇ワーキング内容〇(現在までに、計８回の開催)

対象者となり得る方や空き家についての情報共有や今後の事業運営についての検討を重ね、ニーズ調査や空き家調査等の結果を踏まえ、実施地域を天竜地区まで広げ、事業展開することとした。

※ワーキングの様子

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

事業内容について

対象となる方

・退院後すぐに自宅での生活をすることに、不安をお持ちの方。
・厳冬期の生活に不安をお持ちの方
・土砂崩れ等の自然災害により、自宅で住むことに不安をお持ちの方
・自宅改修の期間、利用を希望される方　　など、、、

※まずは、この事業を知り活用していただく為に、対象範囲を広めに設定し募集する。

利用期間

・１日～３ヶ月までご相談に応じて利用可能

利用料金

・１人につき、１日５００円　（１泊２日１,０００円）※家賃、光熱水費、日用品費を含む。

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

事業内容について②

生活支援

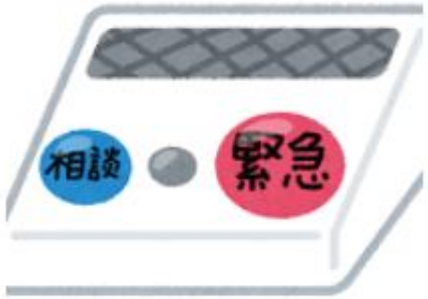
・基本は、電話及び訪問による見守り支援のみ

※入居時に、ご利用者と相談し、頻度・方法を決定する。

（配食サービス等は、必要に応じてサービス事業所の紹介をし、自立をサポートする）

・緊急通報システムを導入しており、緊急時には、警備会社及び法人職員がすぐに駆けつけることが出来る体制を構築

・ＮＰＯ法人ほっと龍山が実施する「移動支援」を活用し、住まいまでの送迎も可能



社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

事業イメージ図

自宅のある地域との関わりを継続するような
仕組みも併せて検討する。

NPOほっと龍山

社会福祉協議会

自治会・民生委員

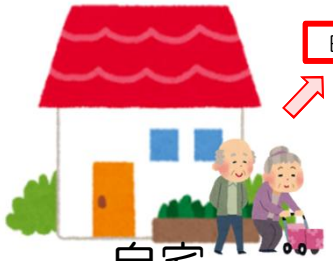
天竜区役所
龍山協働センター

地域包括支援センター
北遠中央

龍山地区

龍山保健センター
集会場

日中活動の場



自宅

生活支援を受けやすい地域
且つ最低限の改修で使用できる家

生活支援を受けやすいやすらぎ付近
且つ最低限の改修で使用できる家

天竜地区

中間施設の
ような機能

自宅復帰

空き家

中間施設の
ような機能

自宅復帰

空き家

入院

一時利用

一時利用

病院

○受けられる可能性があるサービス○
- 地域包括等の見守り
- 訪問診療（地域限定）
- 訪問看護や訪問介護
- リハビリ
- 配食サービス（民間企業のみ）

○想定される対象者○
- 退院後、すぐに自宅で生活することが難しい方。
  （本人希望また医師等が判断した方）

など、、、

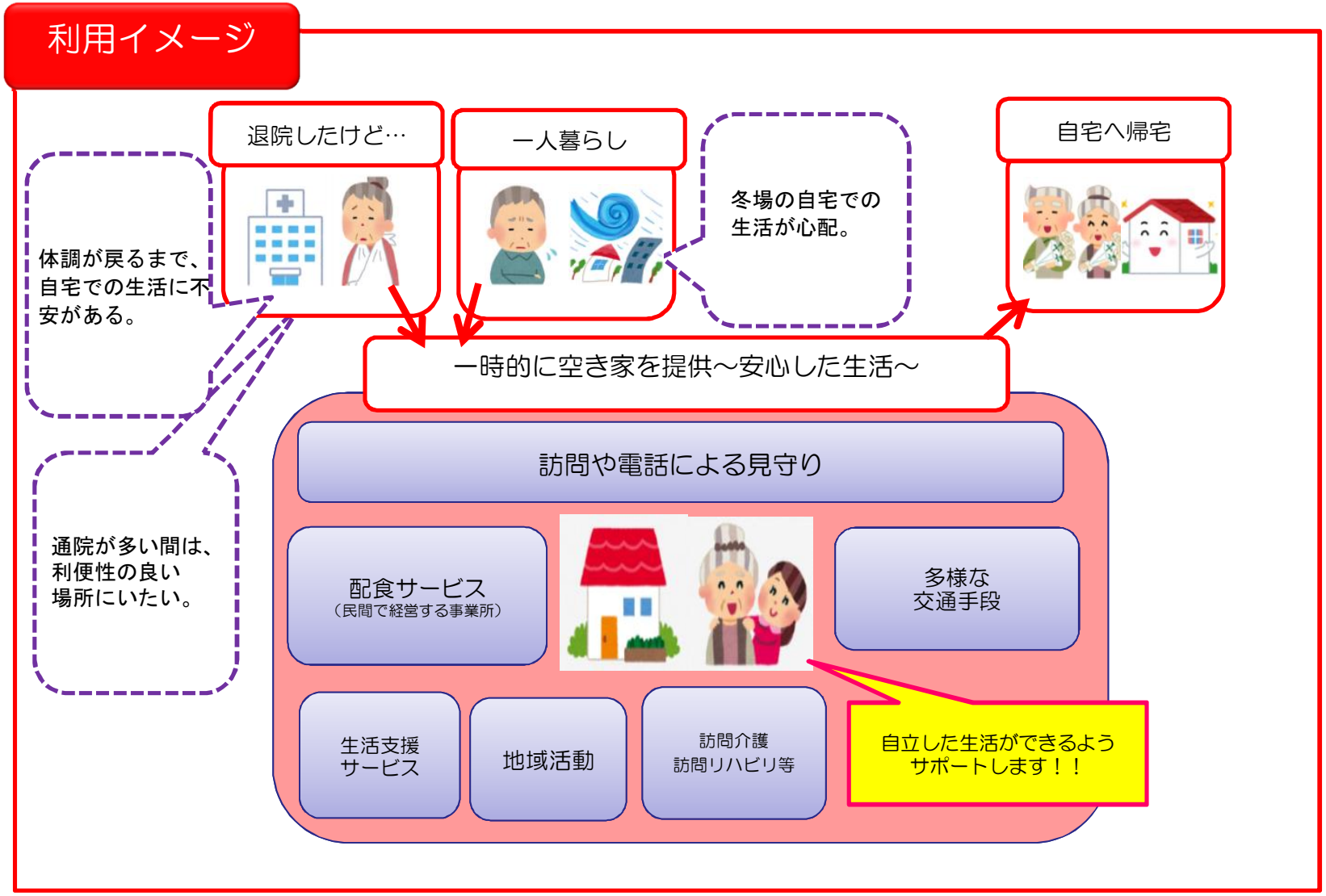
○受けられる可能性があるサービス○
- 地域包括等の見守り
- 配食サービス（回数限定）（社協等）
- 診察時等の移動支援（NPO法人ほっと龍山事業）

○想定される対象者○
- 退院後、すぐに自宅で生活する事は難しいが、見守り等の僅かな支援があれば生活が可能な方
  （本人希望また医師等が判断した場合）
- 土砂崩れや火事等により、自宅での生活が難しい方

など、、、

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

利用イメージ図



社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

サービス利用の流れ

利用受付

↓

アセスメント
- 訪問によるアセスメントの実施
- 地域の民生委員や利用している医療機関から情報収集

↓

利用開始

↓

サービスの調整
- 訪問または電話による見守り支援の頻度や方法の確認
- 必要に応じて、配食等のサービス紹介

↓

定期的な見守り支援
- 訪問または電話による見守り支援

↓

再アセスメント
- 現在の状況を確認する為、アセスメントを実施
- 必要に応じて、自宅へ戻ってからのサービスの調整

↓

利用終了

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

事業で使用する物件について

～やすらぎの家～

☆バス停、スーパーが徒歩５分

☆１ＬＤＫの戸建
近隣への心配が少ない。

☆駐車場２台完備
ご利用者をはじめ、ご家族やサービス事業所も駐車する事が出来る。

☆バスとトイレが別
通常の生活に近い環境であり、手すりも設置している為、自宅に戻るまでのリハビリ期間としても使用可能。

☆家具家電・日用品・寝具等は設置済
気軽に使用できるように準備。

☆平成29年度11月1日オープン☆

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

※11/10現在、利用は無し。

事業周知について

・現在までに使用実績は無いが、ワーキングメンバーや地域のケアマネジャーからは、降雪により道が遮断される地域の方で、「冬季の間のみ使用したい」との要望は、一番多く予想されるとのこと。
・冬季に向けて、事業周知を積極的に実施していく予定。（龍山地区については、ちらしを全戸配布済）

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会

今後に向けて

①やすらぎの家を活用してくださる方の確保

〇ケアマネジャー等からも、潜在的なニーズのある住民はいるだろうとの意見がある。その方達へ、どのようにアプローチしていくのか、どのように事業を知ってもらうか検討をしていく。
〇「住民同士の繋がりが深い」という地域の特性を活かし、地域で行うサロン等で住民との交流を図り、事業周知を図る。

②龍山地区における住まいの確保

〇現在、龍山地区で活用できる空き家は見つかっていないが、日々空き家は増加している。龍山地区での空き家を活用するメリットも多くある為、今後も龍山地区の空き家を継続的に調査し、確保に努めていく。

③自宅のある地域との関わりを継続した仕組みの構築

〇龍山地区は、「互助」が活発に行われている地域である。
　互助を大切にし、やすらぎの家を使用している間でも、自宅にある地域との関わりを継続するような仕組みも構築していく。
〇地区社協等の活動も盛んであり、当事業の活動にも積極的に協力して下さっている。
　地域をよく知る地区社協等との繋がりも大切にし、積極的に意見交換をしながら事業を進めていく。

④できるだけ短時間で利用できる仕組みの構築

〇現在の仕組みでは、申込みがあってから利用開始まで、時間を要する可能性がある。緊急時に使用することを考えると、依頼があってから短時間での入居が必要となる。
〇事業を運営していく中で、可能な限り短時間での入居が可能となるような仕組みを構築していく。

社会福祉法人　学校法人
天竜厚生会